
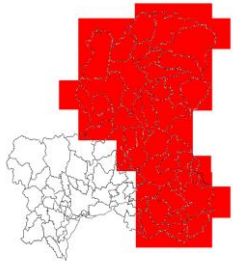


サワラン	<i>Eleocharis japonica</i> (A. Gray) F.Maek. var. <i>japonica</i>	絶滅危惧 I 類
		ラン科
選定理由	園芸目的の採取圧がある。動物が生育地を荒らしたり、採食したりする。	<p>写真(二村延夫)</p> 
形態の特徴	高さは20-30cm。線状の披針形の葉1枚が直立した茎に付く。紅紫色の花が横向きに咲くが半開で終わる。唇弁は3裂し、中裂片には縦の隆起線がある。偽球茎は緑色の球形。花期は6-8月。	
生態的特徴	山地の湿地に生育する。	
分布状況	北海道、本州に分布する。岐阜では飛騨地方および美濃地方の東部に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。湿地に動物が入り込み荒らす。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項	別名アサヒラン。	
参考文献		 <p>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</p>

文責：山崎玲子

